

第45号

発行日：令和4年4月14日

発行元：介護老人保健施設 槇の里
〒953-0041

新潟県新潟市西蒲区巻甲4363番地

(TEL) 0256-72-0331

(FAX) 0256-72-0330

<http://www.jojinkai.com/maki/>

楳



新年度のご挨拶を申し上げます。この4月で、私も着任8年目を迎えることとなりました。本当に月日が経つのは早いものですが、今後も変わらぬご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

さて、今回は少し柔らかい内容で「マイブーム」(古い!)についてお話ししてみたいと思います。最近私がハマっているものは、ワインのブラインドテイシングなのです。「このコロナ禍に飲み会とはけしからん」とのお叱りもあるかとは思いますが、主にweb(zoom)で楽しんでいきますのでご安心を。なぜ「ブラインド」なのか?それは(かつこよく言うと)ワインの真実が明らかになるからです(笑)

ここからは少し医学的な話で…。皆さんは「無作為化比較試験(RCT)」という言葉をご存じですか?これは、客観的に薬剤や治療の効果を判定する目的で、評価のバイアスを極力除いた研究試験の方法です。「二重盲試験」等もこれに相当し、これは治療する側も受ける側も両者ブラインドでの参加となります。何故そんなことをする必要があるのか?それは、薬にしても治療法にしても、プラシーボ(偽薬)効果があるからです。「例えそれが水であっても、効くと思えば効く」なのです。特に治療実施者側の権威や名声が高ければ尚更です。

ワインも同じことが言えると思います。「高価な銘柄のラベル」や「偉大な批評家のお墨付き」があれば、美味しいという思い込みで飲んでしまいます。幸いというか不幸にというか、私はまだ世に言うところの超高級ワイン(ロマネ・コンティ、ペトリュス等)は飲んだことがありませんので、本当のところは分かりません。いずれにしても、ブラインドテイシングは余計なバイアスを取り払い、ワインの本質と向き合う手段としては良いのではと考えトライしています。家人には「味音痴が何を今更…」と言われていますが。

最後に参考文献をいくつか挙げておきます。「ソムリエール(全21巻)」「マリアージュ(全26巻)」「神の雫(全44巻)」「瞬のワイン(全8巻)」「ソムリエ(全9巻)」…えー、これ全部漫画じゃないの!!

新年度早々つまらない駄文で失礼しました。令和4年度もよろしくお願い致します。

ブラインド(グラスの中身)の重要性

介護老人保健施設 槇の里

施設長 齋藤 弘行

節分



今年は思いがけないコロナの感染拡大により、残念ながら恒例の豆まきは中止となりました。その代わりに、鬼との写真撮影会を行いました。サプライズの鬼の登場に最初は驚かれていた利用者様もご覧の笑顔でした。早くコロナが終息して、来年は豆まきができますように…
「鬼は～外！ 福は～内！」



移動スーパーが来ています！



当施設では、昨年12月からマルイ巻店にご協力をいただき、『移動スーパーとくし丸』を利用しています。コロナ禍で外出や外泊の制限、ボランティアの受け入れも難しい状況が続いており、少しでも施設での生活に楽しみをもって過ごしていただきたいと企画しました。とくし丸が来てくださるのは月に2回。ご希望の方数名がご利用されています。主にお菓子やパンを購入される方が多く、皆様どれにしようかと迷いながら、楽しそうに商品を選ばれています(^O^)

※食事の内容や形態に制限のある方もいらっしゃると思います。
利用希望のあった方の中で、施設長から許可が下りた方、自己管理のできる方に利用していただいています。



槇の里で働く人たち

VOL.6 支援相談員



支援相談員は、ご利用者が抱える問題を解決するためにさまざまな支援を行っています。ご利用者やそのご家族が抱えている問題の相談業務に加え、関係機関との調整や連携などを行い、その人らしい生活を送れるよう支援しています。その業務で特に重要なことは、相談者との信頼関係を築きながら、問題を把握し整理・検討していくことです。さらに当施設では、ご利用者が充実した生活を送れるよう、様々な取り組みも行っています。



VOL.7 介護支援専門員



当施設で働く介護支援専門員、通称ケアマネージャーは、施設に入所している方全員に、それぞれに合ったケアプランを作成しています。ご利用者一人ひとりに合ったケアプランを考え、より良いケアを提供する為にマネジメントしています。ご家族様や介護士、看護師、リハビリ等、多職種と連携しカンファレンスを開き、適宜プランを見直し、各職種に発信しています。

新入職員のご紹介



神田 美咲(看護師)

4月よりお世話になっております、看護師の神田美咲と申します。動物が大好きで家ではトイプードルを飼っています。未熟な点も多いと思いますが、1日でも早く利用者様の顔を覚え、快適な生活を送ることが出来るように一生懸命サポートしていきます。よろしくお願い致します。



阿部 こすえ(1階介護)

私が高校生の時に母が祖父の介護を時々手伝っていました。その時の祖父の嬉しそうな顔が忘れられず、介護の仕事を目指そうと思いました。1日も早く慣れるよう仕事を覚えていきたいです。



赤澤 彩香(2階介護)

この春からお世話になります赤澤彩香と申します。私は子供の頃に曾祖母と一緒に暮らしており、家族みんなで協力して介護をしていく中で、笑顔をもえ、寄り添えたことがとても嬉しく、もっと人を助ける仕事をしたいと思い、介護の仕事に就きたいと思いました。たくさんの仕事をいち早く覚えられるよう精一杯努力していきます。よろしくお願い致します。



若杉 暁美(通所リハビリテーション)

4月から槇の里でお世話になっています若杉暁美と申します。医療事務や歯科助手など、いくつかの仕事を経験してきたなかで人に喜ばれることが自分のやりがいにつながっていると気づき、介護の仕事がしたいと思うようになりました。1日でも早く仕事を覚え、ご利用者やご家族の皆様のお役に立ちたいと思っています。よろしくお願い致します。



村山 和樹(介護支援専門員)

4月よりお世話になっております。村山和樹と申します。これまで13年間、介護の仕事に携わってまいりました。その経験を活かし、これからはケアマネージャーとして、ご利用者やご家族の皆様の生活のお手伝いができたらと思っています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



宮島 大輔(支援相談員)

4月に入職しました宮島大輔と申します。今年の3月に長野大学を卒業し、地元新潟に戻ってきました。私は実習を通して、ご利用者やご家族を支える相談員になりたいと思いました。専門職の一人として皆様の生活を支えられるよう努めて参ります。よろしくお願い致します。